



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第365号

2018年5月21日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市庁舎整備方針の現段階

市庁舎整備手法等検討調査業務にかかわる報告書が、3月30日提出されました。その報告書によれば、「市民サービスの向上」及び「財政負担の軽減と庁舎機能の最適化」を考えると、分散している庁舎の集約が必要であるため、本庁舎敷地に全ての庁舎機能を集約する前提としている。

そのために必要な床面積(想定庁舎規模 約18,500㎡)に対し、不足する床面積の「新築」を行い、耐震性の不足する旧館及び新館を活用する際は、耐震補強工事と合わせて建設当初に備わっていた機能の水準以上に改善する「改修」を施し、「新築」と「改修」の組み合わせから、4つの整備計画案を設定している。

4つの案の概要(裏面に地図掲載)

<案1> 旧館及び新館を改修し、隣接して新庁舎を建築し、別館及び教育委員会庁舎の機能を集約する。別館に関しては、上下水道局庁舎機能を移転する。第2別館に関しては、庁舎の書庫として活用する。

<案2> 新館を改修し、隣接して新庁舎を新築し、旧館・別館及び教育委員会庁舎の機能を集約する。旧館は解体するものとする。別館に関しては、上下水道局庁舎機能を移転する。第2別館に関しては、庁舎の書庫として活用する。

<案3> 新庁舎を新築し、本庁舎機能を集約する。旧館及び新館は解体するものとする。別館に関しては、上下水道局庁舎機能を移転する。第2別館に関しては、庁舎の書庫として活用する。

<案4> 新庁舎を新築し、本庁舎機能及び上下水道局機能を集約する。旧館・新館・別館及び第2別館は解体するものとする。

<参考> 旧館及び新館の「改修」のみを行った場合

概算事業費はどのくらいになるの

		単位:億円(税抜き)									
		案1		案2		案3		案4		参考	
設計・計画費		2.47	2.47	2.47	2.38	2.03
工事費	新築	新庁舎	36.89	新庁舎	60.14	新庁舎	88.60	新庁舎	92.36	なし	
	改修	新館	47.53	新館	25.87	なし		なし		新館	47.53
		旧館		なし		旧館					
	活用	別館	別館	別館	なし		別館
第2別館		第2別館	第2別館	なし		第2別館	
解体	なし	旧館		1.86	新館	4.14	新館	5.13	なし		
					旧館						
					別館						
					第2別館						
用地取得費		4.67									
合計		91.6		95.0		99.9		104.5		49.6	

日本共産党はこう考えます

八千代市は、570億円(H28年度決算)もの借金を抱えていながら、市庁舎整備に100億円を超える事業を進めて大丈夫なのか、市民への負担増とサービスの低下になるのではとの不安の声が広がっています。今年度、基本計画を策定しようとしています。が、「検討委員会」にとどまらず、地域懇談会の開催、市民への情報提供などで、市民に判断を委ねるべきです。

庁舎整備計画案

案1:旧館・新館の改修+新築	案2:新館の改修+新築+旧館の解体
<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧館、新館を改修 [約 10,300 ㎡] ○ 隣接して新庁舎を新築(⇒別館、教育委員会庁舎の機能集約) [約 7,300 ㎡] ○ 別館を上下水道局庁舎として使用 ○ 第二別館を書庫として使用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧館を解体 [▲約 4,600 ㎡] ○ 新館は改修 [約 5,700 ㎡] ○ 隣接して新庁舎を新築(⇒旧館、別館、教育委員会庁舎の機能集約) [約 12,000 ㎡] ○ 別館を上下水道局庁舎として使用 ○ 第二別館を書庫として使用
案3:新築+旧館・新館の解体	案4:全館の新築+解体
<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧館、新館を解体 [▲約 10,300 ㎡] ○ 隣接して新庁舎を新築(⇒旧館、新館、別館、教育委員会庁舎の機能集約) [約 17,700 ㎡] ○ 別館を上下水道局庁舎として使用 ○ 第二別館を書庫として使用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全館の解体 [▲約 12,800 ㎡] ○ 新庁舎を新築し、全ての庁舎機能を集約 (旧館、新館、別館、第二別館、教育委員会庁舎)+(上下水道局庁舎) [約 18,500 ㎡ + 約 1,500 ㎡] 上下水道局